



広島に行つてわかつたこと
京小六年
グライナー二コラス 虬太

平和詔急資料館や平和祈念式典に参加したり、本で調べただけでは、分からなかつたことが、たく

子中学生は、サインが鳴らなかつたので、ひなんできず、みんな死んでしまつたそうです。広島の町は、火の海。原爆の温度は、四〇〇〇度。多くの人は、水をほしがり、水を飲んだ時に死んでしまつたそうです。川は死体であふれていたそうです。その他にも、被害の大きさを話してくれました。僕の父はアメリカ人です。この戦争のアメリカ側からの話は、聞いていました。おじいちゃんは、実際に兵隊として、日本の神風とつこう隊のこうげきを受けたそうです。アメリカ側から原爆投下したじよきようを聞き、今回、日本の被爆者からの話を聞き、感じたことは、「戦争は、勝つても負

参加したいと思つた理由は、テレビや授業などで戦争や原ばくの事は知つていたのですがもつとくわしく知りたいと思つたからです。二日目に式典に参加しました。式典では、何万人の人が平和を願つて集まつていました。日本人だけではなく、たくさんの国の人達も参加していたので世界中の人が平和を願つているんだと思いました。

式典が終わつた後、原ばくを体験した人の話を聞きました。一発の原ばくで二十五万人位の人が死んでしまつたなんて、おどろきま

廣島を視察研修で学んだ事
京小六年 柴山 鈴

「それでも幸せになつた人は、いな
い」ということです。平和にくらすことが、みんなの
幸せです。これからも、戦争につ
いて調べ、僕の力だけでは、どう
にもならないかもしねないけど、
戦争がなくなるように考えていき
たいです。

死んでしまった人達が、あちらにならべられ、ハ工やうじ虫がたかっていたそうです。私は、今まで平和にくらしてい る事をあたり前のようと思つて生活をしていましたが、この研修に 行つてみて、あたり前の事ではな かったんだという事に気づきました。これからは戦争などをせず、世界中が平和になつてほしいです。広島で学んだ事をいろいろな人に 伝えていこうと思います。



第17回 少年少女広島視察研修

A black and white portrait of a young man with short hair, wearing a dark baseball cap. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

平和への思い

